

ジフテリア菌 *Corynebacterium diphtheriae*

ヒトが自然宿主

Bordetella pertussis

1945年 8万6千人 (約10%が死亡) → 現在 1~5名 DPT ワクチン

2-5日間程度の潜伏期の後、発熱、咽頭痛、嚥下痛で始まる。

【重症例】心筋炎 (早期1-2病週; 回復期 4-6病週) 神経炎 (横隔膜麻痺)

→ どちらも
死に繋がる。

【軽症例】神経炎 (手足の麻痺)

鼻ジフテリア
扁桃ジフテリア } 90%
咽頭ジフテリア }
偽膜が気管支まで進展 → 気道閉塞による窒息死
皮膚ジフテリア
頸部リンパ節炎

飛沫感染

gravis 型 } 亜テレル酸を加えた培地を用いる
培養コロニーは intermedius 型 } があるが、菌型と病原性は必ずしも一致しない。
mitis 型 }

ファージ変換が知られている。

毒素 tox^+ ファージ → 毒素非産生株 → 毒素産生型

1977年ナイジェリア → 英国へ帰国者保菌ファージが毒素非産生株へ溶原化

英の若者が

持ち帰った。

【治療】

早期診断、早期治療が重要。

6 投与は慎重に。

抗血清 (ウマ血清 アナフィラキシーショック) が重大な危険を防ぐ。

確定診断を持たずに進める必要も。

1993年 大分県ワクチン未接種者 2名発症

↓
内1名死亡 期限切れ抗血清使用

↳ 菌の検出、毒素検出、PCR

ペニシリン、エリスロマイシンが有効

菌を抑える

DPT ワクチン

旧ソ連圏 1990-1995年 125,000人

ワクチン非接種による
感染者数

我国では

百日咳ワクチン副作用により、1975年中止、
接種年齢2歳以上で再開 → 1979年をピークとする百日咳の流行

図4-22

Corynebacterium ulcerans

ネコヤイヌが持っている

人獣共通感染症

偽膜は生じる。

ウシの常在菌、接触、乳製品より感染

ジフテリア様症状患者より毒素産生株分離

Schick テスト ... 微量の毒素を皮内注射

不活化した毒

Moloney テスト ...

↓

今はしない